

## 編集 後記

読者の皆様、まだ暑さが厳しく続いているのではないかと思います。ご自身の健康にも留意し我が国の公衆衛生にますますご貢献、ご活躍される事を願っております。さて、本号では原著一編、資料三編が掲載されており、原著は、「市町村保健師が健康で意欲的に仕事ができる職場環境に関する研究」のご報告です。本誌読者にも多いと思われる保健師を対象として、精神的健康、仕事意欲と職場環境との関連を質問紙調査により検討し、「社会とのつながり」「保健師活動への組織的な取り組み」「保健師の判断・意見の反映」感との関連の高さを示しています。保健師の職場環境を整える上で参考になるご報告と思います。

資料の一編目は、精神保健福祉法改正に関連した保健所の業務をテーマとしており、全国保健所長会が現状や課題を把握した上でガイドラインの作成を予定するなど、精神障害者の処遇改善のために具体的に活動している様子が伝わってきます。二編目は過疎地域における終末期ケアに関し、関連業務の従事者に実施割合や多職種連携について質問紙調査を行ったものです。地域包括ケア体制の整備は地域の状況を踏まえた対応が必要であり、事務職員も含めて調査するなど、把握の一例を示したものと云えましょう。

三編目は、健康日本21に関連した用語の認知度と健診、喫煙、望ましい野菜摂取量について、全国を代表するように対象を設定し電話調査により2年間の推移を見たものです。個人的感想ではありますが、20歳代の健康寿命、野菜摂取量の認知が、30、40歳代よりも高いことは興味深く、一律に高齢程認知されている訳ではないことが分かり、基礎資料として大変重要な調査結果と感じました。

また、本号では第75回日本公衆衛生学会総会演題集も掲載されております。総会には全国から大変多くの会員の皆さまが集い、ご自身の研究成果の発表や意見交換の機会として活用頂いています。総会でのご報告を契機に、本誌にもご投稿頂き、纏められた知見を多くの公衆衛生に関心を持つ方々と共有して頂きたいと思っております。8月号には掲載が無かった公衆衛生活動報告も含め、多くのご投稿をお待ちしております。(中瀬克己)

### 次号予告 (第63巻・第9号)

#### 原著

- 都市規模による歩数の違い：国民健康・栄養調査  
2006-2010年のデータを用いた横断研究  
.....井原正裕, 他  
地域在宅高齢者における膝痛の関連要因：横断研究  
.....佐藤慎一郎, 他

#### 資料

- 市町村母子保健事業の栄養担当者の視点による母子の心配事の特徴：妊娠期・乳児期・幼児期に関する栄養担当者の自由記述の分析  
.....高橋 希, 他

#### 公衆衛生活動報告

- 長崎県松浦市における地域診断支援ツールを活用した高齢者サロンの展開：JAGES プロジェクト  
.....山谷麻由美, 他